

広島市植物公園

見どころ案内

シクラメン・ヘデリフォリウム (サクラソウ科)

ロックガーデンで、種から育てた野性のシクラメンが咲き始めました。花後の花茎がくるくと巻くので、ギリシャ語の円を意味するキクロスから名がつけました。蚊取り線香のように巻いた花茎をさがしてみてください。

ツノゴマ (ツノゴマ科)

北アメリカ南部に分布し、若い実はピクルスにして食用になるそうです。実が熟れてはじけると、かたくて鋭いトゲ状になって地面にころがります。踏むと痛いので、別名は「旅人泣かせ」ちなみに、アフリカ原産のツノゴマのなかには、「ライオン殺し」の名をもつものがあります。

ダリアの世界展

10月5日(土)~17日(木)

展示温室にて開催

たくさんのダリアを集めました。今年初登場の新企画です。お楽しみください。

特別企画展 蘭花譜展

9月14日(土)~12月23日(月・祝)

展示資料館1階展示室にて開催

「蘭花譜」はランの収集家 加賀正太郎氏が人生をかけて監修・制作した104枚の植物図譜です。そのうちの浮世絵の木版画の技法で印刷された、芸術的にも価値のある83枚を前・中・後期に分けて展示しています。

(デジタル映像で104枚すべてを展示中)

※ 10月17日まで前期 展示中!

中期 10/19~ 後期 11/23~

ツクシハギ 筑紫萩 (マメ科)

西日本に多い野生の萩です。園内ではほかの萩より少し遅く咲きます。旗弁の裏と竜骨弁が白っぽいので花のイメージは紅白の縞模様です。

ホトギス (ユリ科)

花びらの小さな水玉模様が特徴です。水玉の数は多いもの少ないもの、個体差があります。模様のない白花も咲いています。

キイジョウロウホトギス

(ユリ科)

紀伊上臈ホトギスの意味です。紀伊半島に分布します。鐘形の黄色い花が咲いています。

ニッサ・シルバチカ

(ヌマミズキ科)

北アメリカ原産のニッサの木です。園内では10月初めから紅葉が始まります。

オオモクゲンジ

(ムクロジ科)

中国原産の落葉高木です。展望塔のそばに植えられています。ピンクの風船のような実がたくさんなっています。近くで見ると、展望塔の屋上からが一番!

青いバラのタペストリー

10月10日(木)~14日(月・祝)

展示資料館1階ロビーにて

青いバラ 300本とピンクのバラ 450本で作ったハートのタペストリーの展示です。

